

堺市指定管理者評価表

(評価対象期間 : 令和5年4月1日 から 令和6年3月31日 まで)

1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市立美原総合スポーツセンター	
(2) 施設の設置目的	
市民のスポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資するため	
(3) 所管部局	
文化観光局 スポーツ部 スポーツ施設課	
(4) 指定管理者名	
コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ (コナミスポーツ株式会社、近鉄ファシリティーズ株式会社)	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日(5年間)	
(6) 主な事業	
管理運営に関する業務(利用申込の受付等、堺市スポーツ施設情報システムに関すること、利用料金の ・ 収受、プログラムレッスンの実施、トレーニング機器の調達・管理、駐車場管理業務、人員の配置等、施設利用案内等、苦情・要望対応、その他使用料等の徴収) ・ 施設等の維持管理に関する業務(適正な維持管理、備品等の貸与及び購入、施設・備品等の保守点検業務、施設維持管理業務、施設及び備品の原状変更、現地調査の対応) ・ 自主事業(スポーツ教室の企画及び実施・その他の指定管理者が提案し行うスポーツ振興事業・センターへのアクセス及び利便性の向上を図る目的から指定管理者が提案し行うスポーツ振興業務) その他の業務(緊急時等への対応、施設内の目的に適したスペースの活用、統計資料等の作成、関係 ・ 機関との連絡調整、堺市のスポーツ推進施策への協力、指定期間終了にあたっての業務、利用者情報等の引継ぎ、業務に必要な規則・マニュアル等の作成、堺市との協議)	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
スポーツ・レクリエーション施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
市民	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
羽曳野市立総合スポーツセンター(はびきのコロセアム)、堺市立美原体育館、堺市美原B&G海洋センター	

2 管理運営状況

(1) 適正な管理運営の確保

ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	オーパス施設情報システム等により、特定の団体や個人に偏りがないよう管理運営を行い、年2回の自主防災訓練の実施、全従業員の心肺蘇生法(CPR&AED)ライセンス取得を行った。個人情報保護については、個人情報に関する理解度確認テストを定期的に行うなど、適正な管理に向けた取組を行った。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	各時間適正人数を配置し、安全研修・接客研修・トレーニング研修・人権研修・防災訓練などを計画に基づき実施。施設維持管理においても、構成企業の近鉄ファシリティーズ株式会社と連携し、法定点検及び自主点検を適正に実施。
施設の設置目的に沿った事業の実施	利用者のニーズに応じたプログラム提供を行うにあたり、1～3か月毎に内容を見直す等、地域の方々が登録しやすい取組を継続中。また、利便性の向上として送迎バスを運行し地域の方々に利用していただきやすい環境を提供している。
その他特筆すべき取組	令和4年に引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら運営した。「コロナウイルスの感染者数の減少」「5類への移行の発表」を受け、プール都度利用者・トレーニング室都度利用者・グラウンドやテニスコートの利用者は回復している。

イ 市による状況分析

- ・子どもスクール事業において1日体験の実施や、送迎バスの運行等、地域の方々が月額会員登録をしやすい環境整備に取り組んでいる。また、様々な研修や心肺蘇生法ライセンス取得等、職員の接客能力の向上や知識の習得により、利用者の安全確保に努めた。
- ・施設維持管理においても、特別清掃や保守点検等を計画的に実施し、修繕のタイミング等を構成企業の近鉄ファシリティーズと綿密に連携することで、安心・安全な施設運営につながった。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
指定管理者名	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	みはら未来創造パートナーズ
利用者数(単位:人)	167,752	156,909	187,673	201,475	—
稼働率(単位:%)	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	別紙のとおり	—
利用者満足度(単位:%)	82.8	80.9	80.6	96.0	—

イ 取組状況

サービス向上、利用促進、自主事業	・月額利用者登録キャンペーン・紹介キャンペーンを実施し、利用者数拡大をはかった。 ・子どもダンススクールの発表会を年2回開催し、継続意欲を高めた。 ・都度利用者対象にスタンプラリーを開催し、利用促進をはかった。
意見・苦情・要望等への対応	・施設・備品の劣化に対する利用者からの声への対応について、修繕などを早期に実施し、安全に利用できる環境を整えた。 ・年2回の集合型の接客接客研修を実施した。
その他特筆すべき取組	・8月にトレーニング室の市民開放デーを実施、12月にプール市民開放デーを実施。 ・1月にアテネオリンピック100M背泳ぎ銅メダリストの水泳教室を開催。

ウ 市による状況分析

トレーニング室とプールにおける市民開放デーの設定により利用者サービスの向上を図ったことや、オリンピックメダリストによる教室事業を開催したことで利用者のモチベーション向上につながったことが、利用者満足度を向上させた要因と考える。

2 管理運営状況

(3) 収支

ア 収支状況

(単位:円)

■ 指定管理業務

指定管理者名		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ		コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ	コナミスポーツ・近鉄ファシリティーズグループ
収入	指定管理料	17,392,224	37,660,815	4,046,296	6,557,810	4,046,296
	利用料金	75,955,582	68,551,560	90,609,630	104,116,750	101,089,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	922,908	2,424,446	7,643,008	7,453,747	6,326,800
合 計		94,270,714	108,636,821	102,298,934	118,128,307	111,462,096
支出	人件費	49,121,704	44,205,966	55,731,067	59,588,789	65,015,000
	委託料	19,393,148	17,241,743	23,412,246	17,500,362	20,482,000
	総支出額に占める委託料の割合	16.2%	14.6%	16.5%	11.8%	13.1%
	修繕費	2,643,410	3,565,502	4,733,026	7,185,656	4,946,296
	光熱水費	20,138,328	22,766,782	31,754,895	31,528,001	34,000,000
	その他	28,351,479	29,920,091	25,936,490	32,541,189	32,005,000
合 計		119,648,069	117,700,084	141,567,724	148,343,997	156,448,296
収支差額		-25,377,355	-9,063,263	-39,268,790	-30,215,690	-44,986,200
(市への納付金の額)		0	0	0	0	0
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

■ 自主事業 (有)

(単位:円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	【参考】令和5年度(予算)
収 入	21,011,885	20,836,166	30,515,204	33,937,528	33,984,479
支 出	21,093,736	20,634,977	24,838,076	29,148,169	29,068,736
収支差額	-81,851	201,189	5,677,128	4,789,359	4,915,743
(市への納付金の額)	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

イ 取組状況

経費の縮減、経理事務等	電気料金対策として、デマンドを管理する機器により、電気の集中利用を抑える工夫をした。こまめにスイッチのON・OFFの操作を実施。冬場はブルーにシートを敷くことで保温対策を実施。 Web広告等の販売促進をチラシをあわせて実施し、幅広い年代に効率的に訴求をした。
-------------	--

ウ 市による状況分析

社員1名の増を見込んでいたが増員がなかったことから、人件費が予算に対し大幅な減となったが、修繕費の増等により収支は赤字となった。なお、自主事業によるキャンペーンや、Webによる利用者拡大のための販売促進の実施により、新規利用者獲得に努めている。

3 目標管理、総合評価

(1) 目標管理

ア 仕様書で定める目標の達成状況

■適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者満足度	満足度80%以上	96.0%

■利用者サービスの向上

指標	目標	実績
施設利用者数(前年度比2%増)	191,426人	201,475人
スポーツ教室事業参加者数(前年度比2%増)	14,528人	13,074人

■収支

指標	目標	実績
利用料金収入	前指定期間内の 年度平均比1%増 153,900,000円以上	104,116,750円

イ 市による状況分析

- ・職員の研修を多数実施することで職員の接客能力の向上に努め、丁寧な接客と定期的な清掃により高い利用者満足度を獲得できた。
- ・月額会員登録者数がコロナ禍以前の水準に回復していないため利用料金収入の目標は未達となったが、新規利用者獲得のためのキャンペーン実施や、様々な年代に応じたスポーツ教室を実施するなど、利用者数の目標水準を達成した。

(2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	・利用料金収入は月額登録者増・都度利用者増により予算を達成した。 ・利用者が快適に施設を利用できるよう設備の点検・メンテナンスに注力した。営業に支障をきたさないよう修理を実施した。 ・出前講座を活用するなど、集合研修を開催し、職員の資質向上、接客力向上に努めた。	・多数の研修により職員の資質向上、接客対応力向上等サービス向上に努めた。 ・また、月額会員登録者数がコロナ禍以前の水準に回復していないため、利用料金収入の目標は未達となったが、堺市の広報誌やXを活用し、キャンペーンやスポーツ教室の宣伝をすることで、利用者の増加に努めた。
今後の取組	・月額利用者登録キャンペーン等を引き続き実施し、チラシ・Web広告・紹介による販売促進を行うことで、効率的に幅広い年代より月額利用者を獲得し、利用料金収入の増加に努める。 ・インスタグラムを開始し、施設訴求をする。 ・グラウンド照明等のLED化をすすめる。	SNSの活用や区役所との連携によりイベント等の情報を発信するなど、新規利用者獲得及び利用料金収入の増加に向けた取組により、一層の施設利用促進を図ってもらいたい。 また、スポーツ教室事業参加者の継続的な施設利用につながるよう、努められたい。

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80～100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの

美原総合スポーツセンター 利用率

(単位：％)

施設名	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
美原総合スポーツセンター 多目的グラウンド	平 日	35.2	26.6	30.7	37.6
	土日祝	78.6	80.8	78.4	82.1
	計	49.6	43.8	45.6	51.8
美原総合スポーツセンター テニスコート	平 日	57.5	54.6	64.0	61.2
	土日祝	85.5	93.1	95.6	95.1
	計	66.0	66.5	73.7	71.5